



- 1 自然素材に囲まれたAさん邸のキッチン&ダイニング。室内で燃焼がないので、室内の空気をきれいに保つことができます。快適な空間でおふたりの時間を楽しんでおられるそうです
- 2 IHクッキングヒーターは火を使わないから油煙などが飛び散りにくく、隣接するダイニングやリビングをクリーンに保てます
- 3 IHクッキングヒーターは操作スイッチが上面にあるので、楽な姿勢で調理することができます
- 4 太陽光発電のモニター。いつでも発電量と買電量が確認できるので、省エネ意識も高まるとか
- 5 日当たりのよい南側の屋根全体に太陽電池モジュールを設置
- 6 バスルーム。エコキュートのリモコンは、キッチンとバスルームの2カ所にあります。どちらからでも簡単にお風呂の準備ができ、リモコン同士で通話することもできます
- 7 Aさんご夫妻。「オール電化住宅に太陽光発電を組み合わせれば、環境にも家計にもやさしい暮らしが実現できます」と語る設計・施工を担当したグッドリビングの曾宮さん(左端)

オール電化にSwitch! 低炭素スタイルをはじめよう

快適なうえに環境にやさしい、できるだけCO₂を出さない暮らし方、それが「低炭素スタイル」。今回は、オール電化で低炭素スタイルな暮らしをスタートさせた2組のユーザーを訪ねました。



2つの太陽の恵みを活用した 環境にも家計にもやさしい暮らしへ

松戸市 Aさん邸 CASE 01



太陽の恵みを活用する 太陽光発電とエコキュート



木の香りと澄んだ空気が印象的なAさん邸。無垢材や珪藻土など、自然素材をふんだんに使っています。もともと環境への意識が高かったAさんご夫妻は、自然素材にこだわると同時に環境にやさしいオール電化住宅を選択。さらに、太陽光発電も採用しました。

「近年、深刻化する地球温暖化の話もあり、新築するならば、できるだけ自然のエネルギーを

上手に活かした暮らしがしたいと思っただけなんです」と話すAさん。太陽の光で電気をつくる太陽光発電、太陽で暖められた空気の熱でお湯を沸かすエコキュート。共に、太陽の恵みを上手に活用することで、CO₂排出量を大幅に削減することができます。

また、経済性の高さも大きな魅力です。Aさん邸では5kWの太陽光発電を導入。暖房機器を多く使用する冬場以外の季節では、発電した電気を自宅で使用、余った電気を電力会社に売電す

ることで、売電金額が電気料金を上回る月もあるそうです。

また、共働きのため、あまり昼間に電気を使わないというAさん邸では、オール電化住宅にぴったりの電気料金メニュー「電化上手」を選択。割安な夜間の電気を利用できるので経済性は大幅に向上しています。さらに、家電製品はタイマー機能を利用して夜間にシフトさせるなどのひと工夫もしています。「新築前から期待していましたが、想像以上の光熱費の安さに、驚いています」と笑顔で話されました。

Aさん邸を設計・施工した会社

東京電力 電化推進パートナー
(株)グッドリビング
TEL.04-7123-8682
http://www.good-donguri.com

